

偏に風の前の塵に同じ

JJ1SXA 池

「祇園精舎の鐘の声/諸行無常の響きあり/沙羅双樹の花の色/盛者必衰の理をあらわす/おごれる人も久しからず/ただ春の世の夢のごとし/たけき者も遂には滅びぬ/偏に風の前の塵に同じ」・・・ご存知、平家物語の冒頭の一文です。

25周年の忘年会の出席者は17局、勿論、少人数ながらというか、少人数故か、忘年会は盛り上がりました、一時期は、2エリアからも参加があつて、大人数の参加者でしたが、往年の常連参加者も、一人減り、二人減りと、大分少なくなっていました。

正に「諸行無常の響きあり、・・・ただ春の世の夢のごとし、・・・偏に風の前の塵に同じ」の心境です。

平成10年3月発行の **TWO-FORTY** 誌に、「240の現状と将来に危惧を感じ、年頭に想う」という記事を掲載させてもらいましたが、25周年を経た今、「危惧を感じ」などという生易しい状況では無くなったような気がするのは、私だけでしょうか？240で **QRV** の局、楽しんでる局は結構多いとは思いますが、ロールコールのチェックイン局にしるイベントの参加局にしる、限られた局になってきました、「主旨」や「運用心得」を全く知らない局も増えています、色々の機会(イベント、アイボール会、**HP**、本誌等)を通じて、理解をしてもらおう努力はしているつもりですが、機会が無い局も多い。

たかが、趣味のアマチュア無線の集まりに、病をおしてとか、仕事を投げ打ってとか、家族サービスをほったらかしてとかというわけにはいきませんが・・・されどです、240グループの一番のメインイベントとして位置付けてきた忘年会、普段中々アイボール **QSO** の機会が少ない局が、万障繰り合わせ、1年に1回はその機会を持つということ、12月最初の日曜日に決めてやってきたわけです、「240命」とはいかないまでも、参加のために多少の無理はしても良いのでは無いか、どうしても参加したいという気持ちを持つか持たないかが大きく作用しているのではと、愚痴が出てしまいます。

あくまでも愚痴ですが、何故愚痴が出るかというのは、イベント等の参加者が少ないからといって、いきなり240というものがおかしくなるとか、無くなるとも思いませんが、その内、「笛吹けど・・・」何とやらとなり、その後は、馬鹿馬鹿しくなって、笛を吹く事も、旗を振る事も、誰もやらなくなるのでは無いかと思うからです、その結果、何時の間にやらならまだ良いが、あつという間に??・・・という可能性を秘めている。

私の思い過ぎしに終われば良いのですが、参加自由の同好会とはいえ、方向性をリードすることを誰もやらなくなれば、単なる思い過ぎしに終わらないような気がします、そんな結末は寂しい限りです、私が強制することではありませんが、私の独り言として聞き流すもよし、危機感をもって行動するもよし、それは心有る皆様に考えて頂き、対処して頂きたいと思います、「偏に風の前の塵に同じ」の思いで、再び、「240の現状と将来に危惧を感じ」でした。

*この記事は、昨年12月、240HPにアップしたものです。(忘年会のページ末尾にリンク)